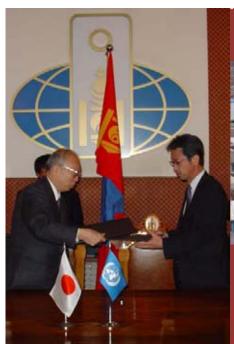
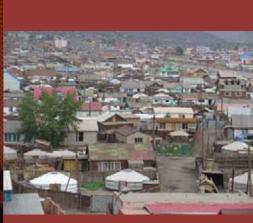




UN-HABITAT (グラン) ハヒ タット・フラッシュ!!





左:交換公文を交わす野田本部長と城所駐 モンゴル大使

右:急速な都市化が進むウランバートル市

モンゴルにおける「いのちの水」事業がスタートします!

国連ハビタット福岡本部は、この度、日本政府コミュニティ開発支援 無償資金を受けモンゴルにおける居住改善事業を実施することになり ました。

2009年6月24日、モンゴル・ウランバートル市において、国連ハビタッ ト福岡本部の野田本部長は城所在モンゴル日本国特命全権大使と「ゲル 地区生活環境改善計画」事業実施に向けた交換公文に署名しました。

ウランバートル市では、過去10年の間に人口が2倍の100万人以上にな りました。移民たちは、ウランバートル市郊外のゲル地区に定住してお り、市人口の60%はゲル地区に住んでいます。人々は水資源を地下水に 頼っていますが、上下水の給排水や周辺設備の未整備に加え、都市部ゲ ル地区への急速な人口流入によって水供給が非常に困難となっていま す。また、水質が悪化し、下痢などの病気も急増しています。

本事業では、ウランバートル市郊外にある5つのゲル地区において、コ ミュニティ住民たちの意見を取り入れながら、住民に安全・安心な「い のちの水」を供給するためのウォーターキオスク(まちの飲料水供給 所)の設置や公共サービスセンターの整備、水供給所への安全・安心な アクセスを確保する等、生活環境改善を行います。また、住民による事 業参加を通じて、コミュニティ全体の活性化を図ります。

今後、事業の進捗状況を「ハビタット・フラッシュ!!」を通じてご報告 していきます。

注)ゲル地区とは、ウランバートル市郊外でモンゴルの伝統的居住様式(テント)が 中心となって出来上がった居住地区で、貧困層が多く住んでいます。

最新のニュース

- 日本政府支援により、モン ゴルで新しい事業がスター トします!
- 福岡でジェンダーに関する ワークショップが開かれまし た。
- 第9回世界ハビタット・デー 記念絵画コンクール 応募作品募集中!



国連ハビタット福岡本部 ワークショップへの参加者たち (2009年6月16日)





「まち」の水供給所と水を汲みに 行く子ども(モンゴル)





ジェンダー・ワークショップ、福岡で開催

国連ハビタット福岡本部は、6月15日(月)~19日(金)の5日間、管轄地域各国で活動する担当者13カ国・地域19名及びナイロビ本部職員5名、計24名を福岡に招へいして「ジェンダー」及び「事業モニタリング&評価」に関するワークショップを開催しました。

今年で設立 12 年目を迎える国連ハビタット福岡本部のもとには、94 のプロジェクト事務所があり、約 2,000 名の職員が活動しています。 2009 年 4 月末時点では、19 カ国で 92 の事業を実施し、プロジェクト総予算は約 288 百万ドルです。これらの事業を適切かつ効果的に実施するために、現地担当者及びナイロビ本部職員ともに上記のようなワークショップをもつことは大変重要なことです。

今回は「ジェンダー」のワークショップを開催したこともあり、初日の開会セッションを福岡県内のジェンダー関係団体・自治体に急遽公開し、約10名の方々が参加されました。それぞれの国の歴史や文化、慣習に配慮しながら、ジェンダーの視点をどう事業に取り入れているのか、成功した事例・苦労した事例など現場の職員の発言に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。この模様は、福岡のTVメディアにも報道されました。

絵画コンクール作品募集!

世界ハビタット・デー記念絵画コンクールは、今年で第9回目を迎えます。今年のテーマは:

「私たちが未来の『まち』のために出来ること」

アジア太平洋地域を中心とする小学 4-6 年生が対象です。人々がずっと安心して暮らしていけるような「まち」にするには、何が必要でしょうか?子どもたちの自由な発想で描く絵画を募集しています。

募集期間は7月6日(月)から9月11日(金)までです。詳しい募集内容は、国連ハビタット福岡本部までご連絡ください。



第8回世界ハビタット・デー記念絵画コンクール 「いのちの水」

国連ハビタット賞金賞受賞作品



2009年7月● 第2号